

平成 21 年度京丹後市当初予算

～ 雇用・産業・生活を全力で支える市民生活最優先の予算～

平成 21 年 2 月 23 日
京丹後市役所

アメリカでのサブプライムローンに端を発した金融危機から、世界同時不況を引き起こし、「百年に一度の経済危機」ともいわれています。この不況の波は本市にも押し寄せ、織物業、建設業はもとより、これまで堅調であった機械金属業においても、自動車産業の不振によって急激な減産体制を強いられるなど、本市経済全体に深刻な暗い影を落としています。

21年度の地方財政計画におきましては、景気後退等に伴い地方税収入が急激に落ち込む中であって、国の「生活防衛のための緊急対策」を踏まえ、安定的な地方財政運営に必要な地方交付税及び一般財源の総額を確保するとされています。

しかし、全国ベースでの地方交付税は、地域雇用創出推進費等の特別枠 1 兆円を上乗せすることにより前年比 2.7%増加するものの、臨時財政対策債の市町村分の借入を前年比 55.3%の増加などで、何とか地方財政の収支を図るという極めて厳しい状況でございます。

本市におきましても、国と同様、景気後退が著しく、市税につきましては、約 2 億 8,000 万円、率にして 4.9%の減少、また、地方消費税交付金をはじめとする各種譲与税・交付金関係で約 2 億 2,000 万円減少すると見込んでおります。

こうした厳しい財源の状況ではありましたが、今なすべき大きな柱としまして、4つの視点により、市民本位・生活重視の予算編成といたしました。

第 1 点目は、雇用・産業・生活を全力でお支えする「産業・雇用 緊急・総力支援策」であります。

百年に一度といわれる景気低迷は、本市においても非正規労働者を中心とした雇用状況を悪化させている状況にあり、産業・雇用総合支援緊急対策を最優先課題として取り組むこととし、借入資金返済 1 年すえおき支援策、あんしん雇用環境づくり事業、地域雇用環境整備特別対策事業、建設業需要拡大緊急支援住宅改修費補助金、新規就農拡大のための遊休農地の利活用事業などをはじめ

めとし、従来からの施策も合わせ約3億円規模の産業・雇用 緊急総力支援策の経費を計上しています。その財源としましては、市職員の労働組合とも相談・合意による職員等の人件費カット(全会計で約 2億1,600万円)、イベント助成の1年間休止(24件・約 3,400万円)などにより財源確保しています。

地域経済に大きく影響を与える公共投資事業につきましては、財政状況が厳しい中、国府の有利な補助金、地方債を十分活用し、継続事業であるブロードバンド整備事業、道路改良事業をはじめとする投資的経費で41億8,515万円を計上し、前年比27.2%増と積極的に計上しています。

また、下水道、水道会計などのインフラ整備系の特別会計におきましても約37億円の投資的経費を計上しています。

【さらに、20年度3月補正予算ではありますが、国の第2次補正を受け、地域活性化・生活対策臨時交付金事業で約5.8億円の投資的事業を計上し、そのほぼ全額を21年度に繰越して実施することとしておりますので、21年度は、京丹後市発足以来最大の投資的事業の執行が可能としています。】

< 産業・雇用 緊急・総力支援策の主な2ポイント >

(1) 産業・雇用緊急経営支援策

産業・雇用総合支援緊急対策の財源に充てるため、職員等の人件費カット及びイベント助成の1年間休止を相談・合意し、関係者の皆さんの総力を合わせ、借入金返済の1年すえおき支援策を実施

(2) 京丹後市発足以来、最大の投資的経費の確保

ブロードバンドネットワーク整備事業、道路事業をはじめ投資的経費で41億8,515万円を確保し、ほぼ全額が平成21年度に繰越実施される地域活性化・生活対策臨時交付金(国の第2次補正予算関連)5億7,858万円と併せ、総計47億6,373万円を確保。本市発足依頼、最大の投資規模。

第2点目は、子どもを生き育てることの喜びを感じる社会の実現を目指す「子育て応援」であります。宇川統合保育所整備費、放課後児童クラブの拡充、妊産婦健康診査の公費負担拡大、次世代育成行動計画の策定、‘子育て応援ハンドブック’、‘病院へ行く前に・子どもの症状とケアのポイント’の冊子発行などを計上しています。

第3点目は、安全で安心して暮らすことができる社会の実現を目指す「安全・安心のまちづくり」であります。中学校の耐震改修と小学校の耐震診断、網野町地域での本格的な内水処理対策事業調査費、有害鳥獣駆除対策の強化、斎場建設の基本計画策定などを計上しています。

第4点目は、来るべき本市発展・飛躍への挑戦として「まちの未来開拓」への取組みであります。

(1) 本市の豊かな特色を活かした飛躍へ向けた挑戦

本年12月に開局予定のCATV（ケーブルテレビ）番組制作経費、バイオファイバー活用型丹後ちりめん新展開事業、世界ジオパークネットワーク事業、水稻有機栽培試験研究圃場委託事業、6次産業創造プロジェクトなど、京丹後市の未来を開拓する事業として計上しています。

(2) 百歳健康長寿の推進など健康長寿の更なる推進

CATVを活用した在宅健康管理システム導入調査、健康推進員制度の創設、百歳健康長寿推進計画、老人クラブの活性化支援事業などを計上しています。

以上、4つの視点を大きな柱とし予算編成をしています。

本市の平成21年度一般会計歳入歳出予算額は、299億6,000万円、前年度は骨格型の予算であったことでもあります。16億3,000万円、前年比5.8%の増としています。なお、公的資金の補償金免除の繰上償還に伴う低利借換えの実施により、予算規模を歳入歳出とも2億9,180万円膨らませているため、実質的な前年比は、5.4%増となっています。

また、市債残高におきましては、今後の財政運営も考慮し市債発行を抑制しており、21年度末現在高見込みは、20年度末残高見込みに対し7億7,900万円、1.8%の減としています。一方、予算編成の財源不足を補うため財政調整基金を6億4,000万円（20年度は9億5,000万円）を繰り入れており、基金残高も少なくなっているところではありますが、年度内調整により、可能な限り基金繰り入れを抑制していきたいと考えております。

いずれにしましても、本来の京丹後市の財政規模は、地方交付税の合併算定替の期間も見据え、今後さらに、スリムなものにしていく必要がありますが、21年度は、積極的な経済支援策とともに、継続事業で実施していますロードバンド整備事業で17億4,000万円を計上するなど、最も多い事業費の年度となっているため予算規模も大きくなっています。

今後も総合計画（実施計画）財政見通しとの整合性を可能な限り図りつつ、引き続き「持続可能な財政運営」の構築を目指していきたいと考えております。

また、京丹後市には、一般会計の他に14の特別会計と水道事業、病院事業という2つの企業会計を設置しています。

特別会計の予算総額は、185億9,390万円で前年度209億4,230

万円と比べ23億4,840万円、11.2%の減額となりました。これは、工業用地造成事業がほぼ完成し大幅に減額となることによるものです。

一方、企業会計の予算総額は、90億6,359万円の前年度83億8,924万円に比べ6億7,435万円、8.0%の増額となっています。これは、病院事業会計でオーダーリングシステムの整備や医療機器(MRI)の整備によるものです。

配布資料

- 資料 平成21年度一般会計当初予算案の概要(パワーポイント版)
- 資料 平成21年度一般会計当初予算の概要(予算規模等数値関係編)
- 資料 平成21年度京丹後市特別会計及び企業会計の主な事業内容

- ・平成21年度一般会計予算書
- ・平成21年度一般会計予算説明書
- ・平成21年度特別会計予算書